

学校名	大町西小学校		
ホームページURL	児童・生徒数	487名	
(1) テーマ 「大豆から味噌を作ろう」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 5年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 社会科の産地調べの学習から、「自分たちの手作り味噌を味わいたい」という児童の希望が生まれ、その願いをもとに大豆の作り方を調べて栽培し収穫するとともに、味噌の種類や味噌の作り方を調べて発表し合い、さらに味噌をつくって手作り味噌を味わう活動を通して、資料を集めたりまとめたり発表する力を養うとともに、自分たちで作り方を調べて味噌を作ろうとする主体的な活動意欲を育てたい。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・活動内容～大豆を栽培して収穫しよう、味噌について知りたいことを調べよう、味噌の作り方を調査しよう、味噌を作ろう、作った味噌を味わおう。 ・学習方法～地域の家から畑を借用して栽培。味噌については図書館で調べたり、家で作り方を聞いたりしてまとめる。味噌作りの道具は児童の家から持ち寄る。 ・学習形態～栽培、味噌作りは全体で学習。調査活動はグループごとの学習。 時数(毎週2時間)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・指導体制～学級単位での活動を主として学年会で活動の報告、活動の見返し、情報交換を重ねた。 ・地域人材の活用～児童の祖父母に大豆の栽培の仕方を教わってきた。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・時間数の取り扱い～週当たり1時間の「総合的な学習の時間」と1時間の学級裁量の時間のほか学活の時間を使った。 ・各教科との関連～社会科：食料生産の単元と関連して学習。理科：インゲンの成長と併せて学習。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・追究力・表現力・共に生きる力が活動の中でどのようにのびているかを評価する。 ・児童のポートフォリオや毎時間の活動終了後に行う自己評価をもとに子供達の活動を見取り形成的な評価を行う。 ・児童の自己評価の累積や教師の活動の記録簿をもとに顕著な点を通知票に記載する。			
(8) 成果と課題 ・調査活動の方法や調査のまとめ方に慣れて、子供たちのアイデアが盛り込みながら学習が進められるようになり、表現力に向上が見られた。 ・子供達が、活動に自ら積極的に取り組もうとする姿が出てきている。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題